

## 平成 28 年度 木の香る淡海の家推進事業実績の概要



県産木材活用推進協議会

## 平成 28 年度 木の香る淡海の家推進事業実績

- 1) 28 年度事業の概要
- 2) びわ湖材使用量の確認
- 3) 募集時期、地域（市町）別決定戸数
- 4) 工務店、納材業者別建築戸数

### 〈はじめに〉

平成 21 年度からスタートした助成金制度による「木の香る淡海の家推進事業」は 8 年目となった。本年度は昨年度の実績が 112 戸にとどまった反省を踏まえ、募集の開始を 4 月 1 日からとして、申請時期の空白期間ができるだけ生じないように前倒しして行った。

このことによって、第 1 回目の募集期間であった 4 月 1 日から 4 月 25 日までの申請件数が 22 件に達するなど期待通りの反応であった。しかしながら、その後の申請件数に勢いがみられず、11 月末までの申請件数が予定している 130 戸に達しない見込みとなった。

このため、10 月 3 日に開催した第 6 回審査会において、募集期間を 29 年 1 月末までとすること、および、1 工務店の申請件数の上限を 20 戸までに拡大することを提案したところ、異議なく了承されることとなった。

この結果、本年度の助成決定戸数が 125 戸となり、昨年実績を 13 戸上回ることができた。

なお、耐震の申請はなかった。

毎回実施される審査会は 7 名（森林組合連合会、建設業協会、建築士会、建築住宅センター、建築組合、木材協会、森林政策課）の審査員で構成され、締め切り後の早い時期に、提出書類を審査し、条件に合致し、不備がなければ助成を決定した。その後、決定者に対して、事業の目的、提出書類、現場確認、注意事項等について個別に説明することに努めた。

### 1) 平成 28 年度事業の概要

滋賀県における森林の多面的機能の発揮と「びわ湖材」の普及啓発及び円滑な流通を促進するため、以下の内容で事業を行った。

（助成内容）

区分	1 戸当たりのびわ湖材の使用量	助成金額	びわ湖材の使用基準
I	7.5 m <sup>3</sup> 以上 15 m <sup>3</sup> 未満	30 万円	構造材 3 m <sup>3</sup> 以上使用
II	15 m <sup>3</sup> 以上	40 万円	構造材 5 m <sup>3</sup> 以上使用

- ・ 1 戸建て専用住宅等（事務所、商店が対象に追加）で、バリアフリーに配慮
- ・ 構造材とは、土台、大引、柱（通、管）、梁（小屋梁含む）、桁、胴差、母屋、棟木、隅木、小屋束、火打、方づえ等とする。
- ・ びわ湖材製品も助成対象とする（針葉樹合板、集成材）  
使用基準 区分 I では 1.5 m<sup>3</sup>を限度（使用量の 1/2 で精算 3 m<sup>3</sup>×1/2）  
区分 II では 3.0 m<sup>3</sup>を限度（使用量の 1/2 で精算 6 m<sup>3</sup>×1/2）
- ・ びわ湖材取扱認定業者により、製材された製品であること。

- ・応募要領により提出書類を提出すること等

## 2) びわ湖材使用量の確認

一段階として、提出された申請書には、びわ湖材使用計画書及び貼付図面（平面図、立面図、伏せ図等）に使用箇所、部材名、寸法、規格が分かるようにしておくとともに、納材業者（びわ湖材取扱業者）の納材確約書の添付を義務付けている。

二段階として、上棟等びわ湖材の使用が概ね完了した時点で、現地の確認を協議会が実施している。この時、びわ湖材証明書の提出を義務付けている。

現地確認は、申請書類（主にびわ湖材利用計画書）に基づき実施しているが、申請時と棟上時で使用量が異なる場合は、実際の利用実績を提出させ、それに基づき確認を行っている。

## 3) 募集時期、地域（市町）別決定戸数

募集時期は、第1回目を4月1日から4月25日、第2回目を4月26日から5月31日までとし、その後、11月までは毎月月末締めとし、12月の第9回募集は年末年始にかかることから、締め切りを12月22日として募集を行った。最終1月の募集まで計10回にわたって申請を受け付けた。

### 新築等助成（募集期ごとの助成決定内容）

申請期間	使用数量別戸数（戸）			助成額 万円	使用県産材量 m <sup>3</sup>
	7.5 m <sup>3</sup> ～15 m <sup>3</sup>	15 m <sup>3</sup> 以上	計		
4月 1日～4月 25日	13	9	22	7,600	288.71
4月 26日～5月 31日	7	6	13	4,500	163.86
6月 1日～ 6月 30日	9	1	10	3,100	103.09
7月 1日～ 7月 31日	5	1	6	1,900	56.37
8月 1日～ 8月 31日	5	9	14	5,100	216.46
9月 1日～ 9月 30日	10	4	14	4,600	143.80
10月 1日～10月 31日	10	8	18	6,200	221.63
11月 1日～11月 30日	11	3	14	4,500	141.59
12月 1日～12月 22日	8	1	9	2,800	82.13
12月 23日～1月 31日	4	1	5	1,600	46.91
計	82	43	125	41,800	1,464.55

### 建築市町別実績

(単位：戸)

大津市	9	草津市	2	野洲市	2
彦根市	8	守山市	5	湖南市	1
長浜市	49	栗東市	4	高島市	5
近江八幡市	8	甲賀市	8	東近江市	7
米原市	11	日野町	1	愛荘町	2
甲良町	1	多賀町	2		
実績合計 125 (申請件数 126 のうち 1 件が申請辞退)					

(未実施 竜王町、豊郷町)

建築場所については、長浜市が 49 戸と 1 市で 4 割近くを占めており、彦根市、米原市を合わせると 5 割を越える実績であった。次いで、大津市(9 戸)、近江八幡市(8 戸)、甲賀市(8 戸)と続くが、大津市は昨年(5 戸)にくらべて倍近くの伸びとなった。

今年度も、長浜を中心とした、湖北、湖東地域での活用が活発であった。

なお、長浜市の助成決定のうち 1 件が地盤調査の結果、地盤改良工事が必要と判断され、年度内の上棟ができなくなったことから辞退の申し出があったため、実績件数は 125 戸となった。

#### 4) 工務店 (建築戸数)、納材業者 (びわ湖材納入材積、納入戸数)

工務店

単位：戸

納材業者

(株)安田工務店	20
内保製材(株)	10
(株)坂田工務店	6
(株)平野住建	4
(株)安土建築工房	4
(株)マルト	4
(有)西川岐建工業	4
北村工務店	3
(株)橋本工務店	3
その他 (1 戸～2 戸) 57 工務店	67
計 (66 工務店)	125 戸

スンエン長浜営業所	m <sup>3</sup> 212.55	戸 26
スンエン関西支店	81.43	10
丸松木材(株)	79.38	10
(株)伊藤源	102.22	8
下村木材(株)	97.66	6
(株)滋賀原木	43.04	5
甲賀林材(株)	38.74	5
滋賀中央森林組合	59.15	4
丸和産業(株)	76.16	4
(株)八興	22.99	3
鳥居木材(株)	32.03	3
その他 (1 戸～2 戸) 27 事業者		41
計 (38 事業者)		25 戸